

I. 広東省

1 広州白雲国際空港、第2ターミナルを4月より供用開始

● 27日、広東省空港集団は、広州白雲国際空港第2ターミナル（T2）を4月26日から全面運用開始するとした。第2ターミナルの総面積88.07万㎡で、年間旅客数は延べ4,500万人を見込んでいる。第2ターミナル運用開始後、第1ターミナルも全面改修され、その中でも旅客からの意見が特に大きかったトイレ不足の問題にも取り組む（2月28日付『南方日報』）。

2 広東省外事工作会議が開催

● 27日、広州市で標記会議が行われた。会議に対し李希党書記と馬興瑞省長も文書に指示を書き、習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想を指導として堅持すること、党中央からの政策的配置と外事に対する要求を真剣に実施し、地方外事工作の指導体制改革を深く着実に推し進め、党委員会が外事工作に責任を持つこと、党委員会が外事工作を指導するのに効果的なメカニズムを築くこと、外事のリソースを上手く使って地方の経済・社会の発展に役立てるとともに、国の政治的安全を確実に守ることなどが強調された（2月28日付『南方日報』）。

3 省規律検査委員会が常務委員拡大会議を開催

● 2日、施克輝・省規律検査委員会書記の主宰による常務委員拡大会議が開催された。会議では、習近平総書記による第19期三中全会での重要講話と同会議の精神を伝達・学習し、その貫徹・実施のための意見を検討するとともに、「四つの意識」を強くし、「四つの自信」をしっかりとって、習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想を指導として堅持し、職務を忠実に履行し、着実に仕事をして、同会議が手配した各種の改革の任務が広東省の地に根付き大きな成果を出すことを確保するため、固い規律によって保証しなければならない旨強調された（3月3日付『廣州日報』）。

4 李希・省書記と馬興瑞・省長が两会期間中に林鄭月娥・香港行政長官と面会

● 4日、李希・省書記と馬興瑞・省長が两会期間中に林鄭月娥・香港行政長官と面会した。李希・省書記と林鄭月娥・香港行政長官は広東・香港・マカオ・ビッグ・ベイエリアなど広東省と香港の協力関係、一国二制度の徹底、経済協力などについて話し合った（3月5日付『南方日報』）。

II. 広州市

1 広州市、「トイレ革命」3カ年アクションプランを発表

● 27日、広州市政府常務会議は中央政府が観光業の発展に向けて各地にきれいな公衆トイレを整備する「トイレ革命」を推進する中、標記アクションプランを審議、採択した。広州では2020年末までに2,240か所の公衆トイレを建設または改修する（建設654か所、改修1,586か所。男女トイレ比率は2：3とする）（2月28日付『南方日報』）。

2 華南地域米商工会議所が行った中国本土有望投資先調査で広州市が首位

● 1日、華南地域米商工会議所が公表した2018年の中国経営環境白書と華南地域経済状況特別報告によれば同会議所会員が追加投資先としたい都市として、中国本土主要44都市中、広州市が首位だった。次いで深セン市、上海市、北京市と続いた。調査は17年9月～12月に会員企業244社を対象に実施された（3月5日付『南方都市報』）。

III. 深圳市

1 ごみの未分別に罰金、深セン市が意見公募

● 26日、深セン市政府は、生活ごみの分別方法の細分化や、分別に従わない法人や個人に対する処罰規定を盛り込んだ「生活ごみ分類条例」の草案を発表し、市民からの意見を募った。条例に違反した場合には、法人には5万元、個人には500～2,000元の罰金が科される可能性がある（2月28日付『南方日報』）。

2 深セン市党常務委員会会議が開催

● 1日、王偉中・書記主宰で、標記会議が行われた。会議では、習近平総書記による第19期三中全会での重要講話の精神を伝達・学習し、党中央による政策的配置を掛け値なしに実施することを確保した（3月2日付『深セン特区報』）。